



テクノ経営総合研究所では、2008年1月23日、泰日工業大学（タイ・バンコク）において新春特別講座を開講いたしました。グローバルな視野で「ものづくり経営」を考えるための一助として、日タイ間の相互協力のお役に立てたことを嬉しく思います。

当日は、日系企業34社（45名様）のご参加をいただき、日本とタイとの文化交流の場となりました。

「タイ人リーダーの人材育成を核とした現場力向上」

(株)テクノ経営総合研究所 部長コンサルタント 森川 清彦

活動事例紹介 **KOBELCO & MATERIALS COPPER TUBE (THAILAND) CO.,LTD**

田口工場長 様

- 泰日工業大学の紹介では、泰日工業大学 鈴木先生より、設立にいたる経緯及び理念を中心に大学の募集概要・設備・授業内容等をご紹介いただきました。
- 基調講演は、当社・常務取締役 橋間が、製造業を取り巻く経済環境および国際分業が進展するグローバルなものづくり現場の現状と課題についてお話させていただきました。
- 講演テーマについては、森川コンサルタントが「タイ人リーダーの人材育成を核とした現場力向上」と題して、タイ企業の指導経験をもとにタイの気質と特性を活かした人材育成の進め方について講演いたしました。生産性、品質向上、不良撲滅等タイ工場での付加価値向上にはリーダー育成が不可欠のことで、成功するタイ人リーダー育成の原則として、①性善主義、②制約と恐怖感の排除、③三割主義（打点優先）の三点であるというのが講演のエッセンスです。性善主義とは相手を信じることであり、制約と恐怖感の排除とは相手を萎縮させず自由に考働（考えつつ働く）できる環境を整備すること、三割主義とは最初から完璧を期待しないことです。
- 活動事例紹介では、KOBELCO & MATERIALS COPPER TUBE (THAILAND) CO.,LTDの工場長様から、自社工場における人材育成の実践事例をご紹介いただき、VPM活動を通じたリーダー育成と改善活動の定着とその成果についてのお話をいただきました。
- お互いのコミュニケーション強化は人材育成や改善活動を進展させる世界共通のエネルギーです。講演・事例紹介を通じて、タイ人リーダーの育成には指導する立場の意識改革が必要であることが語られました。人材育成に頭を悩ませておられる参加企業の皆様からは、タイ人の国民性や思考を考慮した指導方法について理解できたというご感想をいただきました。



テクノ経営と泰日工業大学は、現在、講師交流協定の業務提携を進めており、初回講座として、“VPM講座”の開講を予定しております。また今後は、各種技術講座、トップセミナー等の開講を大学と順次計画を致し実施の方向です。